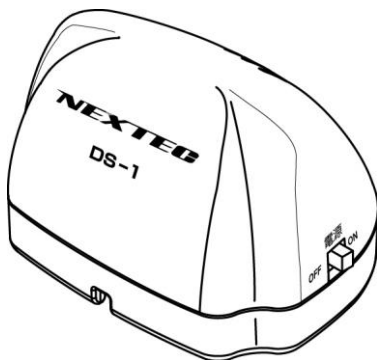
NEXTEC

カーセキュリティー

DS-1

取扱説明書

保証書付

この度は FRC 製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使い下さい。
お読みになった後は、大切に保管していただき、おわかりにならないことがあった時に、再度お読みください。

本機は DC12V 車（マイナスアース）専用です

目次

安全についてのお願いとご注意……2

免責事項……4

主な特長……5

製品の構成……6

各部の名称と機能……7

配線方法……8

使用方法および動作……12

主な仕様……16

保証規定……17

保証・アフターサービスについて……18

安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書および製品への表示には、安全に正しく使用して、お客様や他の人への危害と財産への侵害を防ぐために、いろいろな絵表示をしています。本製品を使用になる前に、これらの内容をよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。

⚠ 警　告

（人身の安全のためにお守りいただくこと）

■ 絵表示の例

⚠の表示は、注意を促す内容があることを表しています。

⃠の表示は、行為の禁止（してはいけない）内容を表しています。

❗の表示は、行為の指示・強制（しなければいけない）内容を表しています。

■ 使用場所・使用環境について

・本製品を分解、改造しないでください。
故障や感電、火災の原因となります。

・水のかかる場所で使用しないでください。
また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。

・車を運転中に操作しないでください。
交通事故の原因となります。

・ケースが汚れた場合は、シンナー・ベンジン・科学雑巾などで拭かないでください。ケースの変形・変色の原因となります。

■ コード類の取り扱いについて

・コード類を傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください（本取扱説明書記載事項の加工を除く）。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っ張ったりするとコード類が破損し、火災、感電の原因になります。

・使用しないコードがある場合は、安全のためにテープで先端処理する等して先端が他に接触しないように注意してください。

■ 異常時の対処

・万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、危険ですので絶対におやめください。

免責事項

・この商品は、別売りのドライブレコーダーと組み合わせ、特定のエリアの映像を記録する目的で作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
・弊社はいかなる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合による損害、本商品の故障や本商品を使用することによって生じた損害
2. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. 弊社以外のドライブレコーダーなどと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
5. お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償要求、クレームなど
6. 天候等によりセンサーが誤動作したことに起因する不具合

主な特長

■ドップラーセンサーによる自動録画機能

不審者が車内に乗り込んだ場合や運転席ドア、助手席ドア、後部座席左右ドア、バックドア等に近づいた場合に、電波を使用したドップラーセンサーでそれらを検出します。検出すると本機に接続されたドライブレコーダーが録画を開始します。録画時間は1検出あたり1分間です。不審行動により検出が続く場合は引き続き録画します。

■ 車 ACC(アクセサリーキー)との連動

本機 ACC コードを車の ACC 系統(イグニッションキーを ACC にすると＋12Vが ON するライン)に接続することにより、本機に接続されたドライブレコーダーの ON/OFF(ドライブレコーダーへの電源供給の ON/OFF)をコントロールします。

ACC ON 時は常にドライブレコーダーを ON にします。

ACC を OFF にすると、それから 1 分間録画を続けます。この間、ブザーが鳴り、セキュリティーモードに移行する旨をお知らせします。ブザーが鳴り終わると、本機はセキュリティーモードに入ります。ドップラーセンサーによる自動録画待機状態に入ります。

■ドライブレコーダー２台接続可能

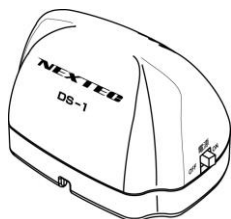
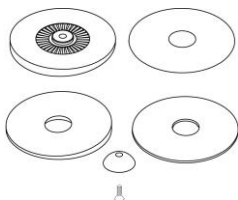
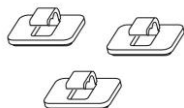
本機には最大2台のドライブレコーダーを接続できます。

用途に合わせ車内撮影用、前方撮影用として使用できます。

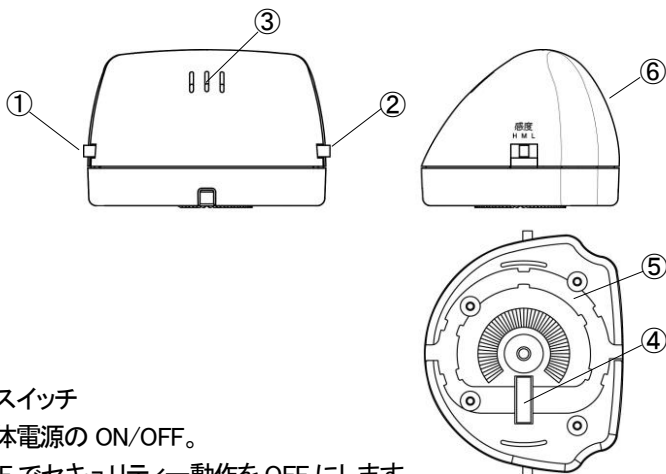
■ マルチパワーボックス接続可能

別売のマルチパワーボックスを接続することにより車のバッテリーに負担を掛けることなくセキュリティー動作ができます。

製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。

＊別売オプション品
　マルチパワーボックス：品番 BP-1、BP-2、BP-5

別売オプション品をお求めになる際は、販売店へお問い合わせください。

各部の名称と機能

① 電源スイッチ

本体電源の ON/OFF。

OFF でセキュリティー動作を OFF にします。

OFF でも車の ACC ON/OFF によるドライブレコーダーON/OFF 機能は動作します。

② センサー感度設定切替えスイッチ

L(低感度)、M(中感度)、H(高感度)の 3 段階切替え。

用途に合わせて切替えてください。

③ ブザー

操作音、動作音を出力します。

④ 中継ユニット接続端子

中継ユニットの6pコネクタを接続します。

⑤ コード固定溝

中継ユニットのコードを固定する溝。

溝にコードを押し込んでください。

コード引き回しにより本体の前、もしくは後から引き出します。

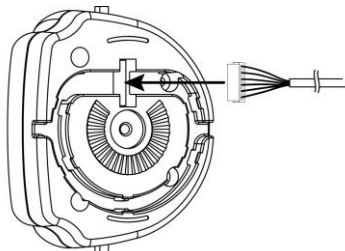
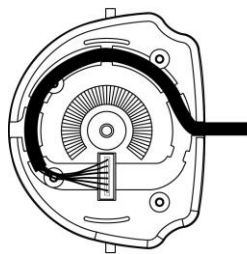
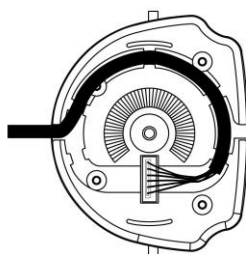
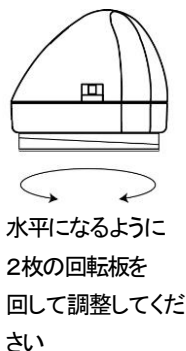
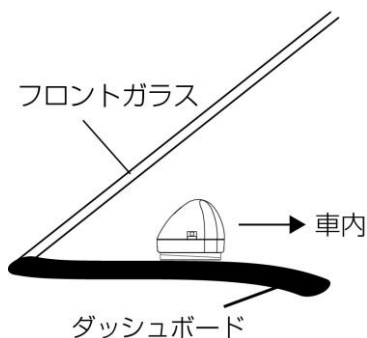
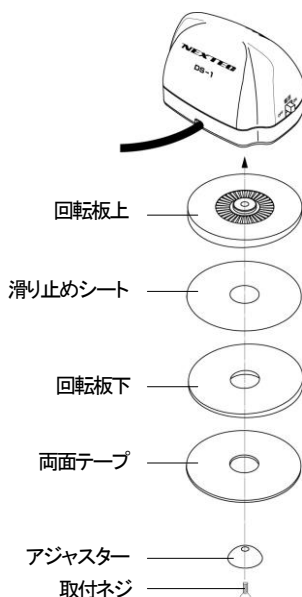
⑥ センサー面

ドップラーセンサーのセンサーアンテナ面。

この面を車内側に向けて設置してください。

配線方法

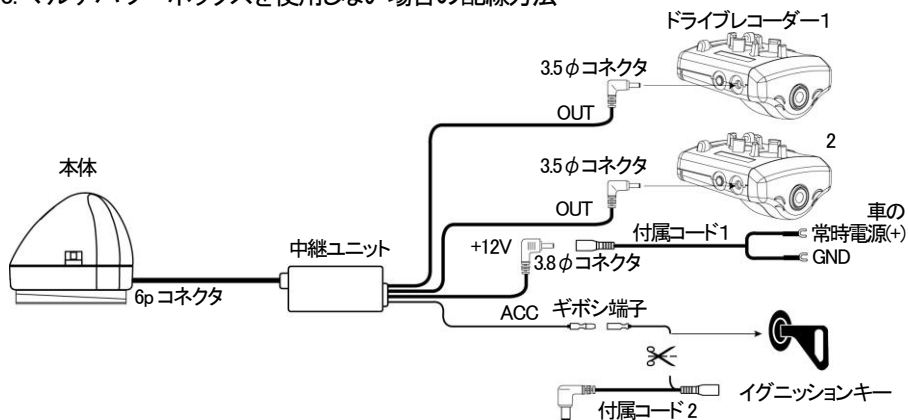
1. 本体の設置

- 本体の電源スイッチを OFF の位置にしておいてください。
- 本体の中継ユニット接続端子に、中継ユニットの6pコネクタを挿入します。
  6pコネクタには挿入方向があります。挿入方向を確認して接続してください。

- 本体からの中継ユニットの引き出しは、配線経路に応じて前もしくは後に引き出してください。その際、コードは本体裏面の溝に押し込んでください。

- センサーには指向性があります。ダッシュボードに取り付ける際は、センサー面を車内側に向けて設置してください。
- 本体がおおむね水平になるように、取付ステーを回転させて位置を合わせてください。
- 位置が決まりましたら、ネジを締め両面テープでダッシュボードに固定してください。
- また、取付面が水平であれば取付ステーを使用しなくても大丈夫です。
  その場合は、回転板上、滑り止めシート、回転板下、アジャスター、取付ネジが不要となります。
- 取付ステーを使用しない場合は本体を直接両面テープで固定してください。

2. 配線作業時の注意事項

＊付属コード2の3．８φコネクタは、配線終了後、最後に中継ユニットの＋12Vと接続してください。

＊中継ユニット6pコネクタには向きがあります。挿入方向を確認して接続してください。無理に挿入するとコネクタのピンが曲がる等、壊れる可能性がありますので注意して接続してください。

＊使用しないコードがある場合は、安全のためにテープを巻く等で絶縁処理をしてください。

3. マルチパワーボックスを使用しない場合の配線方法

＊本機ACCに接続するギボシ端子コードは、付属コード2をカットしてご使用ください。

＊車のバッテリー上がりにご注意ください。

＊配線の取り出し方法に関する質問にはお答えできません。

4. マルチパワーボックスを使用した場合の配線方法

ドライブレコーダー1

3.5φコネクタ

OUT

2

本体

3.5φコネクタ

OUT

中継ユニット

6p コネクタ

BP1/BP2/BP5

の接続例

前面

NEXTEC

+12V

3.8φコネクタ

背面

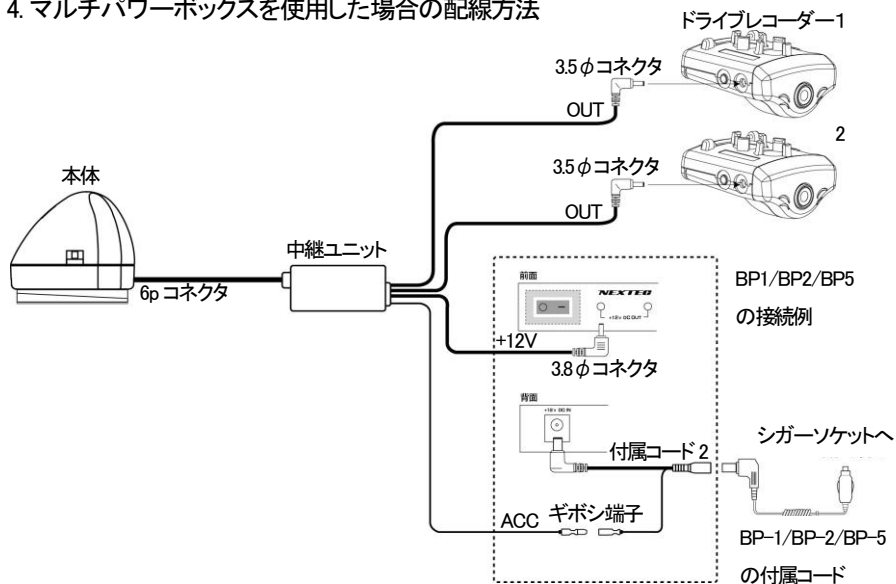
付属コード 2

シガーソケットへ

ACC

ギボシ端子

BP-1/BP-2/BP-5

の付属コード

使用方法および動作

1. 本体の電源スイッチを ON にします。
   本体のブザーがピーと約 1 秒間鳴ります。

2. 車のイグニッションキーを OFF から ACC または ON にします。 エンジン始動
   本機に接続されたドライブレコーダーに電源が供給され、ドライブレコーダーによる記録が開始されます。
   ＊ドライブレコーダーの動作に関しましては、ドライブレコーダーの設定によります。
   ドライブレコーダーは、電源が供給されたら記録が開始されるように設定してください。

3. 感度設定をします。
   本体のセンサー感度設定切替えスイッチを操作します。
   ◆感度設定の目安
   - 低感度（L）
     低感度に変更した時、ブザーがピーと 1 回鳴ります。
     人が車周辺をうろうろした場合は検出しません。
     車内に侵入しようとした時(ドアを開ける等)、検出します。
   - 中感度（M）
     中感度に変更した時、ブザーがピーピーと2回鳴ります。
     低感度と高感度の中間の感度になります。
   - 高感度（H）
     高感度に変更した時、ブザーがピーピーピーと3回鳴ります。
     人が車周辺をうろうろした場合、検出します。

4. 車のイグニッションキーを ACC または ON から OFF にします。 エンジン停止

(1) 本体ブザーがピー、ピー、･･･と2秒間隔で鳴り始めます。

(2) 50秒後から1秒間隔で、55秒後から0．5秒間隔で鳴ります。
ブザーは1分間鳴ります。
この間、ドライブレコーダーの電源は ON のままです。

(3) ブザーが鳴り終わると、セキュリティー動作に移行します。

(4) ドライブレコーダーの電源が OFF になります。

◆セキュリティー動作に関して

セキュリティー動作中はドップラーセンサーにより監視されます。センサーが何らかを検出すると、ドライブレコーダーの電源を1分間 ON にします。
検出がなくなってから1分後にドライブレコーダーの電源を OFF にします。
1分未満の間に連続的に検出が続いた場合は、その間ドライブレコーダーの電源は ON のままです。
センサー検出感度は、センサー感度設定切替えスイッチにより 3 段階切替えできます。
用途に合わせて設定してください。

◆セキュリティー動作中の人以外の自然現象検出対応に関して

ドップラーセンサーの感度設定を高感度(H)とした場合、激しい雨、車直近の木々の揺れ等をセンサーが検出してしまう場合があります。
検出が連続的に続くとドライブレコーダーがONし続け、無駄な記録が増え、バッテリーが消耗します。そのような現象を防ぐため、感度設定を自動的に低感度（L）へ移行させています。
移行後、検出がなくなった場合は、再び高感度（H）設定に戻ります。

5. 車のイグニッションキーを OFF から ACC または ON にします。

セキュリティー動作後のエンジン始動

(1) セキュリティー動作の解除と検出履歴の報知

・セキュリティー動作が解除されます。

・その際、セキュリティー動作中の検出の有無をブザーでお知らせします。

▼セキュリティー動作中、何らかの検出があった場合

ブザーがピー、ピー・・・と 5 回鳴ります。

▼セキュリティー動作中、検出がなかった場合

ブザーは鳴りません。

＊車に乗り込んでから 1 分以内にイグニッションキーを OFF から ACC、またはエンジンを始動した場合、セキュリティー動作中の検出とはなりません。ブザーは鳴りません。1 分以上経過した場合は、検出があったと判断しブザーが 5 回鳴ります。

運転者は、車に乗り込んでから 1 分以内にイグニッションキーを ACC にするか、エンジンを始動してください。その時間を越えると運転者を不審者としてセキュリティー動作中の検出があったと判断し、検出履歴の報知をします。

(2) ドライブレコーダーの記録開始

運転者が車に乗り込みセンサー検出されてからドライブレコーダーの記録が開始されます。

◆本体電源スイッチ OFF 状態の動作

本体の電源スイッチを OFF した場合、セキュリティー動作が OFF します。ドップラーセンサーによる自動録画機能が停止します。

その場合であっても、車 ACC の ON/OFF で接続されたドライブレコーダーの電源は ON/OFF します。

◆状態別動作表

DS-1 電源ｽｲｯﾁ	車の状態	イグニッションキー	ドライブレコーダー	DS-1の動作状態
OFF	停車中	OFF	OFF	OFF ｾｷｭﾘﾃｨ動作OFF
	走行中	ACCまたはON	ON	OFF ｾｷｭﾘﾃｨ動作OFF
ON	停車中 運転者は車にいない	OFF	検出が無ければOFF 検出有りでON→検出が無くなってから 1分後にOFF	ON ｾｷｭﾘﾃｨ動作ON
	運転者が車に戻る 停車→走行	OFF→ACCまたはON	OFF→ON	ON 検出履歴の報知 ・ｾｷｭﾘﾃｨ動作中、 検出が有りの場合 ﾌﾞｻﾞｰが鳴る. ・検出無しの場合、 ﾌﾞｻﾞｰは鳴らない. ｾｷｭﾘﾃｨ動作ON→OFF
	走行→停車 運転者は車から離れる	ACCまたはON→OFF	ON→1分後にOFF	ON 1分間ﾌﾞｻﾞｰが鳴る ｾｷｭﾘﾃｨ動作OFF→ON

主な仕様

電源電圧	DC＋12V	
消費電流	7mA（定常時）	
	37mA（セキュリティー動作中）	
アース方式	マイナスアース方式	
保護回路	+12V 入力	1．5A（自動復帰型）
	+12V 出力（2系統）	各 1A（自動復帰型）
センサー感度設定切替	L（低感度）、M（中感度）、H（高感度）の3段階切替え	
寸法	63（W）×41（H）×52（D）/mm（突起部除く）	
本体重量	約46g（取付ステー除く）	

保証規定

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものですが、万一ご購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

① 使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
② ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
④ 本保証書のご提示がない場合。
⑤ 本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

＊ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証・アフターサービスについて

● 保証期間はお買い上げ日から１年間です。
保証書は必ず「お買い上げ日、販売店」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 修理を依頼されるときは操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常があるときは修理を依頼してください。

■ 保証期間中は:
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参ください。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは:
お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理メモ

保　証　書

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもっと無償修理いたします。修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

商品名	カーセキュリティー　　　**DS-1**		
保証期間	1年	購入年月日	年　月　日
お客様	ご住所 TEL.		
	お名前		
販売店	住所		
	店名		

本保証書の再発行はできませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8

TEL ： 042-793-7746 土日・祝日および弊社休業日を除く【10:00～12:00 13:00～17:00】

URL ： http://www.frc-net.co.jp